

2023 年度 農学部セメスター派遣プログラム

AIMS セメスター派遣生 募集要項

0. 注意事項

新型コロナウイルス関連肺炎(以下、COVID-19)の感染拡大により、国際交流を取り巻く状況は大きく変化しています。本学でも 2020 年度 2 月以降、海外派遣プログラムを制限していましたが、日本国内・海外の状況を鑑みて海外派遣に係る調整を段階的に進めています。その中で、適切な状況判断を重ね十分に準備した上で、国際交流に関心のある皆さんを安全に海外に送り出せるよう、充実したサポートをしていきたいと考えております。

以前より AIMS セメスター派遣に興味があり準備してこられた皆さんには通常の海外派遣とは異なる点が多いため、ご不便・ご負担をおかけしてしまうことになるかもしれませんが、本学としては皆さんの安全を最優先した上で様々な判断をしていきたいと考えています。そのため、本要項に記載した情報は 2022 年 12 月上旬時点の内容ですが、今後の COVID-19 感染拡大状況によっては、派遣の中止(場合によってはオンライン講義のみ)や、派遣期間・時期の変更、派遣先大学の変更などが生じることもあります。そのことを十分に理解していただいた上で、海外派遣に興味があり可能性に挑戦してみたいという方に応募してほしいと思います。本学としても必要な情報は随時皆さんと共有しつつ進めていく予定ですので、派遣を希望される皆さん、また保護者の皆様におかれましては、状況に応じて適切な情報に基づき判断していただくとともに、大学としての危機対応方針および対策にご理解・ご協力いただけますよう、よろしく願いいたします。なお、本派遣プログラムの渡航については、学生の皆さんの健康及び安全を第一に考え、下記 URL 掲載の「海外渡航・留学再開についての本学ガイドライン(2022 年 10 月 12 日版)」に則り実施します。

https://www.tuat.ac.jp/documents/tuat/NEWS/important/20221012_saikai.pdf

海外渡航・留学再開についてのガイドラインの関連項目／一部抜粋

- 1-2) 渡航先国・地域について、以下の全てを満たすこと。
 - ・感染症危険情報がレベル 2 または 3 であるが、その事由が COVID-19 の影響である。
 - ・海外安全情報の危険情報がレベル 1 以下である。
- 1-3) 原則、COVID-19 のワクチン接種を 3 回以上完了していること。



※派遣学生の安全を確保する観点から、ワクチン接種を原則としますが、接種を行えない事情がある場合は、接種を強制するものではありません。個別の事情については、確認書を提出する際に申し出て下さい。なお、渡航先国においてワクチン接種を必須としている場合もありますので、渡航先国の大使館サイト等でよく確認してください。

※2022 年 9 月 7 日以降、日本政府の要件を満たすワクチン接種 3 回目完了者は、渡航先国の医療機関における「出国前検査陰性証明書」証明書の取得が不要となりました。

1. 趣旨・目的

東京農工大学は理工系大学として、教育研究を通して、世界の平和と社会や自然環境と調和した科学技術の進展と人材育成に貢献することを、理念としています。

現在、ASEAN は世界の成長センターの一つとして目覚ましい発展を遂げ、活気に満ち溢れています。本プログラムでは、活気のある ASEAN の成長を目の当たりにし、そのような中で発生する ASEAN の諸課題を協働で取り組むことができる、ASEAN と日本との架け橋になりうる実践型グローバル人材を育成することを目指しています。

本プログラムで養成する人材像は、次のとおりです。

- (1) ASEAN で生じている諸課題の背景を理解し、解決するための幅広い教養と国際的に通用する専門分野の知識を有し、自ら進んで課題解決に取り組む意欲と能力を有する人材
- (2) 自国の文化だけでなく、相手国文化を敬意をもって学び、共に理解する姿勢と能力を有する人材
- (3) 語学力、論理的思考力および総合的な視野を有し、協調性を持って合意形成を導くことができる人材

◆AIMS Programとは？(ASEAN International Mobility for Student Program)

⇒ASEAN 統合に向けた、ASEAN 域内での学部生向けの学生交流プログラム。2013 年より日本もこのプログラムに参加。現在、ASEAN 諸国を中心にマレーシア、インドネシア、タイ、ベトナム、フィリピン、ブルネイ、日本、韓国、シンガポールの9か国が参加。
⇒参加国政府は、AIMS プログラムに参加する高等教育機関(大学)を選定し、自国からの派遣学生に対して奨学金等の財政的援助を実施。

2. プログラムの内容(派遣先、派遣期間、派遣内容、派遣費用、奨学金)

(1) 派遣先(これまでの派遣実績国)

ボゴール農科大学(インドネシア)
ガジャ・マダ大学(インドネシア)
カセサート大学(タイ)
フィリピン大学ロスバニョス校(フィリピン)
プトラ大学(マレーシア)
マーラ工科大学(マレーシア)

(2) 派遣期間及び事前事後研修

2023年7月下旬～2024年2月下旬、5～6か月程度(派遣先大学により異なります)

※派遣に伴い、2023年4月～7月に実施する事前研修への参加が必須となります。

※2023年4月12日(水)・13日(木)・14日(金)昼休みに2022年度AIMS派遣学生による留学報告会を実施予定です。2023年度派遣学生は、この報告会への参加が必須となります。

(3) 派遣内容

○単位取得を目的とした派遣先大学での科目受講、現地の文化体験、現地学生との交流等

- * 派遣先大学によって若干異なります。
- * 本プログラムは、派遣先大学での単位取得(最低12単位を履修)を目的として、本学の学生を1セメスターの期間、派遣するものです。
- * 各学科の必修科目・選択必修科目等を考慮して、所属学科の学生派遣受入れ専門委員や教育委員およびAIMSプログラムのコーディネーターと密に調整しながら、派遣先大学での受講科目について学生本人が確定する必要があります。
- * 派遣内容についても渡航時期等の影響を受けて変更となる可能性があります。

(4) 派遣費用（原則自己負担）

○派遣に係る主な費用は以下のとおりです。

渡航費、パスポート申請費用、査証（VISA）取得に係る費用、海外旅行保険の加入に係る費用、現地での宿泊費、国内・現地での移動に係る経費（通学費、現地空港からの交通費を含む）、飲食費、お小遣い、土産代など。

* 渡航費については、一部、大学から補助される可能性がある。

(5) 奨学金（予定）

「JASSO 海外留学支援制度協定派遣奨学金」については、派遣の決定の後に別途支給の可否が決定されます。

同奨学金申請資格は、①日本国籍を保有すること、②支給対象者選考時の在籍大学等における前年度の成績評価係数（以下の「成績評価係数の算出方法」をもとに「成績評価ポイント」を換算し、小数第3位を四捨五入して算出する。）が3.00満点で2.30以上であることが必要です。

【JASSO 成績評価指数の算出方法】 “S” と “A” を同じ評価ポイント3で計算します。

5段階評価(パターン5)	成績評価				
	S	A	B	C	D
成績評価ポイント	3	3	2	1	0

(計算式)

$$\frac{(\text{「SとAの総単位数」} \times 3) + (\text{「Bの総単位数」} \times 2) + (\text{「Cの総単位数」} \times 1) + (\text{「Dの総単位数」} \times 0)}{\text{総登録単位数}}$$

総登録単位数

また、本奨学金支給の可否の決定に当たり、以下の点を考慮します。

ー併給を認めていない奨学金を受給している場合は、本奨学金を受給することはできない。たとえば、JASSO給付型奨学金と本奨学金を併給することはできない。もしも受給している場合、本奨学金を受給するためには給付型奨学金の休止手続きが必要となる。

ー学生の家計状況に配慮し、JASSO「第二種奨学金」の在学採用の家計基準を満たした場合、優先的に本奨学金を支給する。

以下に該当する学生は「第二種奨学金」（在学採用）の家計基準を満たす可能性がある。

1. 現在、第一種、第二種奨学金を受給している者
2. JASSO ホームページ「家計基準」に掲載の収入・所得の目安を超えない者
<https://www.jasso.go.jp/shogakukin/seido/kijun/zaigaku/index.html>
※上記 URL から「大学での奨学金」「大学院での奨学金」の内、該当する方を選び、「2. 家計基準」を確認してください。



3. 説明会開催日程

《第1回説明会》

日時：2022年12月6日(火) 12:10~12:50 場所：第1講義棟24教室

《第2回説明会》

日時：2022年12月21日(水) 12:10~12:50 場所：第1講義棟24教室

《第3回説明会》

日時：2023年1月5日(木) 12:10~12:50 場所：第1講義棟24教室

4. 応募・選考

(1) 応募資格

- ①派遣時において、3、4年次（共同獣医学科については、5年次）
*4年次については、指導教員と事前に十分に調整のうえ、応募してください。
- ②原則として、令和4年度前期までのGPAが2.5以上であること。
- ③原則として、以下のいずれかの英語力を有すること。
 - ・TOEFL (iBT) 61点以上
 - ・TOEFL (PBT) 500点以上 (ITPテスト含む)
 - ・IELTS : 5.0以上
- ④2023年4月～8月に実施する各種事前研修に参加できること。
- ⑤本学の代表として自立した行動の取れる人材であり、派遣先では協調性を持って生活・学業に関わる本学と派遣先のルールを遵守できること。
※ 派遣決定後であっても不適格とみなされる場合は派遣の取り消し、派遣中の場合は途中帰国もあり得ます。
- ⑥派遣前後は受入の留学生とともに学びながら授業・フィールドワークをサポートし、日本での生活などを助け合う「バディ制度」に協力すること。

* 応募する学生は、自身の所属学科の教育委員やAIMS委員の先生に、留学中の履修計画や所属学科の研究室の配属等についてご相談ください。そのうえで、応募に際しては、事前に教育委員から了承を得てください。

教育委員の先生への相談などについては時間的余裕を持って行ってください。

* 上記②、③の基準を下回る学生でも、応募することができます。この場合、大学として経済的な支援（渡航費の負担、奨学金の支給）はできませんが、AIMS関係教員・AIMSプログラムコーディネーターのサポートのもと、AIMSプログラムの派遣学生として留学することができます。

(2) 応募書類

- ①申請書（別添）
- ②英語力を証明できるもの（コピー）
- ③パスポート（コピー、すでに取得している場合）
- ④東京農工大学派遣事業応募に際しての承諾書兼誓約書

(3) 応募・選考スケジュール（予定）

- | | |
|--------------|---------------------------------|
| ○募集期間 | : 2022年12月8日(木) ~ 2023年1月20日(金) |
| ○応募締切 | : <u>2023年1月20日(金)17:00</u> |
| ○提出先 | : 農学部教務第2係 |
| ○第1次選考（書面審査） | : 2023年1月24日(火) ~ 2023年1月27日(金) |
| ○第2次選考（面接審査） | : 2023年1月31日(火)・2月2日(木) |
- ※やむを得ない理由で面接日に来れない場合は予備日を設けます
- | | |
|---------|-----------------|
| ○選考結果通知 | : 2023年2月中旬(予定) |
|---------|-----------------|

(4) 選考基準

- ①第1次選考：書面審査
* 学力、語学力、申請書の内容等から総合的に評価する。

②第2次選考：面接審査

* 以下の内容に関する質疑応答により、学力とともに本プログラムへの理解と意欲、海外派遣プログラム等への参加経験などから、総合的に評価する。

- (1) 志望動機・抱負
- (2) プログラムを通しての学習目標
- (3) 将来の進路希望
- (4) 国際交流活動への意欲や経験

5. 問い合わせ先

東京農工大学 農学部 AIMS コーディネーター 准教授 横森佳世

Email : yokomorikayo@go.tuat.ac.jp TEL: 042-367-5920

農学部教務第2係

E-mail : a-nyushi@cc.tuat.ac.jp TEL : 042-367-5659

大学の世界展開力強化事業

2023 AIMS 海外学生派遣プログラム 申請書

フリガナ	(セイ)	(メイ)
氏名	(姓)	(名)
所属	学部	学科 年 学籍番号
連絡先	TEL : E-mail (学籍メール) :	
語学力	TOEFL (iBT・PBT・ITP)・IELTS・TOEIC L&R _____ 点 (西暦____年__月__日時点)	
希望する大学	・第1希望 : _____ ・第2希望 : _____ ・第3希望 : _____	
保証人同意	上記申請者が、2023 AIMS 海外学生派遣プログラムに参加することに同意します。 保証人氏名 : _____ (自署)	

◆志望動機◆

(*応募に至った動機やプログラムを通しての学習目標、将来の進路希望、国際交流活動への意欲や経験等)

◆締切 2023年1月20日(金)17:00

◆提出先：農学部 教務第2係

※応募する学生は、自身が所属している学科の教育委員に、事前に本申請書コピーを提出してください。
 (Emailでの提出も可とします。申請書をpdfファイルにして添付してください。)